

令和5年度 事業報告書 No.2

Ⅱ. 事業の概要

1. 法人関係1
2. 短期大学、中学校高等学校共通の主な取組1
3. 短期大学関係2
4. 中学校高等学校関係2

令和5年度事業報告の概要

1. 法人関係

(1) 創立60周年記念「国際学院の未来を語る会」

- ・学院創立60周年の節目を迎え、本来ならば記念式典等を企画すべきでしたが、令和5年6月に学母大野敦子先生が逝去され、学院全体での祝賀行事を控えることにした。改めて、学院創立60周年の節目に、令和4年7月逝去された創立者大野誠先生並びに亡き学母大野敦子先生のお二人が築かれた60年を振り返り、今後のさらなる国際学院発展の機運を高めるため、「国際学院の未来を語る会」を令和5年12月9日、パレスホテル大宮にて執り行った。
- ・当日は、本学院役員・専任教職員・後援会役員・同窓会役員等、64名が参加し、大野誠先生、大野敦子先生との思い出や設置校の未来を語り、後援会・同窓会からエールをいただくなど心のこもった会とすることができた。

(2) 令和5年度学院全体会

- ・これまで新型コロナウイルスの影響で新年の学院全体会開催を見送ってきたが、ウイルスが感染法上の5類に移行したことを受け令和6年1月5日にオンラインによる学院全体会を行った。
- ・当日は、理事長・学長・校長から年頭所感が述べられ、法人本部からは教職員の倫理綱領、令和6年度の予算編成方針、サービスについての話があった。最後に学院創立60周年の節目の年にあたり学院の歴史振り返る録画映像を視聴し、本学院への皆の想いを一つにし、学院の一層の充実発展を期した。

2. 短期大学、中学校高等学校共通の主な取組

(1) 卒業研究発表会

- ・短期大学：令和6年2月19日、プレゼンテーション及びポスターセッションの方式により実施。37グループ（幼児保育学科26、健康栄養学科11）
- ・高等学校全日制課程：令和6年2月13日、於：上尾市文化センター、発表：3年生8名
- ・高等学校通信制課程：令和6年2月14日、於：大宮キャンパス、発表：3年生14名

(2) 五峯祭

- ・短期大学：令和5年11月12日開催、来学者概数1,575名
- ・高等学校通信制課程：令和5年11月12日開催、来校者概数490名
- ・中学校高等学校：令和5年9月9日・10日開催、来校者概数1,460名

(3) 体育大会・体育祭

- ・短期大学：令和5年5月19日 於：上尾運動公園体育館
- ・中学校高等学校：令和5年5月30日、31日 於：上尾運動公園陸上競技場

3. 短期大学関係

(1) 入学定員充足率の減少と対応

- ・入学定員充足率が 80%を下回る場合、新修学支援制度の対象から、また、50%を下回る場合は経常費補助金の対象から除外されることになり、現状は、極めて厳しい状況。
- ・委託訓練については、保育士・栄養士・調理師の三つの養成コースを開設し、入学定員充足率を補完する効果をもたらしている。

(2) 学生と学長との意見交換会（代表学生と学長との意見交換会）

- ・令和 5 年 9 月 27 日実施、2 年生：3 名、1 年生：2 名の参加

(3) 第 38 回幼児絵画展、第 30 回味彩コンテストの実施

- ・幼児絵画展応募作品数:908 点、応募園数 102 園
- ・味彩コンテスト応募作品数:一般の部 124 点、高校の部 161 点

(4) 第 12 回「学生政策提案フォーラム in さいたま」への参加

- ・幼児保育学科・教育学ゼミ及び健康栄養学科・臨床栄養学ゼミがさいたま市に対し政策提案を実施

日 時：令和 5 年 11 月 27 日

場 所：武蔵浦和コミュニティセンター

参加者：6 大学、10 グループ

(5) 地産地消推進に係る連携協定

- ・さいたま市、株式会社パレスエンタープライズ及び国際学院埼玉短期大学との地産地消推進に係る連携協定を締結した。

日 時：令和 6 年 1 月 26 日

場 所：さいたま市役所

出席者：学長 大野博之、さいたま市長 清水勇人

株式会社パレスエンタープライズ 代表取締役社長 海保邦男

(6) 教育設備の環境整備

- ・ML 教室に設置の電子ピアノをリニューアルし、最新型の多機能な電子ピアノ 31 台を設置した。この設備が導入されたことにより、音楽教育の進展が大いに期待でき、教育の質が向上し、学生の付加価値が高められる。

4. 中学校高等学校関係

(1) 海外研修

高等学校全日課程・中学校

- ・研修先：マレーシア（クアラルンプール他）
- ・令和 5 年 11 月 12 日～15 日
- ・参加者 高校第 2 学年 32 名・中学 3 年 9 名

高等学校通信制課程

- ・研修先：オーストラリア（ゴールドコースト・ブリスベン）
- ・令和5年10月17日～22日
- ・参加者 9名

(2) 部活動（主な記録）

①射撃部

- ・第61回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会が7月、広島県安芸太田町の「つつがライフル射撃場」で行われ、10mエア・ライフル少年男子立射40発競技（AR40J）で3年大山誠道くんが優勝した。なお、エアライフル男子団体戦（3年大山誠道、3年江川翔波、1年山岸直人）は惜しくも優勝は逃したものの準優勝の活躍をみせた。

②陸上部

- ・国民体育大会「燃ゆる感動 鹿児島国体」が10月、鹿児島市の「白波スタジアム」で行われ、少年女子三段跳びで3年田口侑楽さんが12m55で逆転優勝。また、少年女子100mで1年高橋祐生弥さんが11秒93で初優勝した。

(3) 施設環境整備

- ・エコキャンパス推進事業として本館、体育館、グラウンド、外灯を省エネルギー型のLED照明にした。このことにより消費電力と電気代が大幅に削減され、そしてCO2排出削減に繋がり地球温暖化対策へ貢献できる。

(4) その他

①新莊高級中學(台湾)との国際交流

令和5年4月

内 容：オンライン交流、Culture Box

②2023年度埼玉県障害者就労施設支援事業「第24回 彩の国セルブまつり」参加

令和5年6月3日（土）（於：鐘塚公園）

参加者：書道部、軽音楽部

③ユニリーバ・ジャパン株式会社との合同企画

令和5年6月6日（火）（於：本校1307教室）

参加者：埼玉県庁資源循環推進課職員1名、ユニリーバ・ジャパン株式会社社員2名、
本校参加希望生徒

内 容：シャンプーなどのプラスチック製品を回収、リサイクル品の制作

6月16日（金）・6月30日（金）にもオンラインで打ち合わせ

④ユニクロ服のチカラプロジェクト 講演会

令和5年6月23日（金）（於：本校2号館会議室）

内 容：難民を救う手段の一つとして古着(子ども服)のリサイクルプロジェクト
対象者：中学校第2学年・第3学年

⑤オランダ Alfrink College 来校

令和5年11月22日(水)～11月30日(木)
来校者数：生徒8名 教員2名 計13名

⑥マレーシアとのオンライン交流

令和5年7月19日(火)
内 容：提携しているマレーシア王立アラムシャー中等学校と11月に実施されるマレーシアでの研修に向けて事前交流
参加者：マレーシア海外研修参加者及び中学生

⑦ダヴセルフエスティームプロジェクト Free Being Me

「大好きなわたし」ワークショップ開催
令和5年10月11日(水)(於：本校小講堂)
内 容：ユニリーバ・ジャパンの協力のもと、開催した。「あなたらしさが、美しさ」をブランドパーパスに掲げるダヴは、「ダヴセルフエスティームプロジェクト」と題して、自己肯定感について考え、その重要性を知る機会となった。体を動かしながらの体験型学習
参加者：高等学校1年生

⑧マレーシアとのオンライン交流

令和5年10月11日(水)16:00～17:00
内 容：提携しているマレーシア王立アラムシャー中等学校と11月に実施されるマレーシアでの研修に向けて事前交流。
参加者：マレーシア海外研修参加者及び中学生

⑨UMILE プロジェクト協力企画

令和5年10月13日(金)(於：本校)
内 容：ユニリーバが進めるプラスチックリサイクル活動。
対 象：SDGs推進委員会

⑩台湾教育旅行関係者視察受け入れ

令和5年10月17日(火)(於：本校1203教室)
内 容：日本政府観光局(JNTO)主催で実施する「台湾における訪日教育旅行促進事業」の一環として行われる台湾教育旅行関係者の日本国内視察事業。
参加者：本校教員3名及びSDGs推進委員